

## 福祉サービス第三者評価 評価結果

対象事業所：赤い屋根保育園

〒234-0054 横浜市港南区港南台五丁目 3-1

事業者：社会福祉法人 同塵会

実施概要	1 ページ
総合評価（評価結果についての講評）	2～3 ページ
評価領域ごとの特記事項	4 ページ
分類別評価結果	5～11 ページ
利用者家族アンケート分析・集計結果	12～18 ページ
利用者本人調査分析	19～20 ページ
事業者意見	21 ページ

2006 年 12 月 4 日公表

実施機関：特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

## 実施概要

事業所名	社会福祉法人 同塵会 赤い屋根保育園		
報告書作成日	2006年11月25日	評価に要した期間	約5ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま		

## 評価方法

<p>1、自己評価</p> <p>実施期間:06年6月下旬～06年8月11日</p>	<p>一人ひとりであらかじめ記入した後、クラス別、朝の非常勤、夜の非常勤などのグループ毎に、質問の意味がわからなかったところなどを園長が説明。</p> <p>各個人が記入したものをクラス別に会議を持ち、意見交換しながら1項目ずつ確認・合意。</p> <p>それらを持ち寄り、園長、主任、事務担当で協議・合意して集約。</p>
<p>2、利用者家族アンケート調査</p> <p>実施期間:06年8月1日～06年8月20日</p>	<p>利用者保護者へ事業者から手渡し。</p> <p>同封の返送用封筒にて、評価機関宛匿名で返送。</p>
<p>3、訪問実地調査</p> <p>実施日:第1日 06年9月25日 第2日 06年9月27日</p>	<p>第1日午前中は各クラスの保育観察や5歳児の聞き取り調査と、一時保育や親子サロンの見学、昼食も各クラスで。午後は書類調査、および園長・主任に事業者面接調査を実施。</p> <p>第2日午前中は各クラスの保育観察と5歳児の聞き取り調査、昼食も各クラスで。午後は、看護師、栄養士、一時保育担当、育児支援センター担当、朝・夕スタッフ各1人、各クラスチーフに面接調査の後、園長・主任に事業者面接調査を実施。</p>
<p>4、利用者本人調査</p> <p>実施日:第1日 06年9月25日 第2日 06年9月27日</p>	<p>観察調査は、戸外(公園・道路・園庭)および園内で実施。</p> <p>聞き取り調査は、5歳児クラスを中心に保育中および食事に実施。</p>

## 総合評価（評価結果についての講評）

### 【施設の概要】

赤い屋根保育園は、2004年11月に認可を受け、開園しました。園は、公団住宅、ひの養護学校、地区センターに隣接し、道を挟んだ反対側は一般住宅地です。近くには大小の自然豊かな公園がいくつもあり、散歩の場所に恵まれています。2階建の園舎は保育室が全て南に面しています。さらに図書コーナー、「モンテの部屋」などもあり、ゆとりのある造りです。一時保育の部屋は円形、天井は吹き抜けで赤い屋根が目印になっています。

運営は社会福祉法人同塵会です。同法人は高齢者福祉施設（特別養護老人ホームや地域ケアプラザ等）の運営を中心に事業を展開しています。保育園の経営は初めてですが、園長の理想の保育園をつくりたいという熱意で実現しました。定員は120名、延長保育を含め7時から20時まで保育を実施しています。港南区育児支援センター園として地域の育児支援に力を注ぎ、一時保育、親子サロン、園庭開放、交流保育、育児講座、育児相談、子育てサークルへの支援等、積極的に取り組んでいます。

### 高く評価できる点

#### 1、職員体制に恵まれ、職員は向上心が高く、豊かな保育を提供しています。

開設2年目ですが、子どもたちは落ち着いて過ごしています。経験豊富な保育士が多く、その上非常勤保育士の数も多くて職員体制が豊かなことも影響しているようです。非常勤職員ミーティングは朝・昼・夕毎日3回、クラスごとのミーティングは朝・夕毎日2回行われ、しっかりと引継ぎがなされています。昨年は職員が交替で障がい児保育、相談援助などの研修に38回参加しました。その他に、わらべ歌勉強会は毎月行い、園のあちこちで心地よいわらべ歌が聞こえてきます。モンテッソーリ教育法の勉強会にも交替で参加し、専門の指導者を招いて子どもたちにも順次実践をし、完全実施を目指しています。多くの研修会に参加できるのも職員体制の豊かさに起因すると言えます。

#### 2、子どもたちは優しく温かい環境の中で、自立・自律に向かっています。

保育士は、どの子に対しても温かく優しく静かな声で接しています。幼い子どもたちの間では些細なけんかが頻繁に起こりますが、保育士は一人ひとりの話をよく聞いています。話をよく聞いてもらった子どもは、自分の行為を自分で考えることができる子どもに育っています。けんかの後、保育士は謝りなさいとは言いませんが、子どもたちは自分の誤りに気付いて自分からごめんなさいと謝ることができています。そして年長になるとけんかも少なく、自分たちで解決する力もつけています。

子どもたちは、常に主体性を大切にされ、意見や意向を重んじられているので、のびのびと遊びこんでいます。また、乳児期から基本的な生活習慣を身につけるよう指導され、自立に向かっています。

#### 3、充実した地域子育て支援を提供しています。

港南区の育児支援センター園として中核的な任務を担い、積極的に地域子育て支援を実施しています。子育て支援担当職員が配置されているので、親も安心して参加できます。毎週月曜に開かれている親子サロンは、入園前の親子が大勢集まってモンテッソーリ教育の教具で遊び、さらに母親同士の交流の場にもなっています。週3日の園庭開放や月1回の育児講座へは、毎回地域の親子が参加しています。毎日専門の職員が対応する育児相談、交流保育、子育てサークルへの支援も行っています。

また、一時保育のための保育室が完備しています。一時保育は毎日受け入れており、清潔な明るい部

屋で慣れない子どもたちもいつの間にか落ち着いて園生活を過ごしています。

様々な支援は子ども自身の発達を保障するよう配慮していますが、今後は親の意識のレベルアップも目指しています。

## 独自に取り組んでいる点

### モンテッソーリ教育法の導入

モンテッソーリ教育法を取り入れ、そのための部屋を用意し、教材も徐々に整備されています。子どもたちは、1歳児から指導を受けており、週に1回50分間、5~6人ずつ、専門の指導者から発達に応じた指導を受けています。子どもたちは、「モンテの部屋」と呼んでモンテッソーリ教育の時間を楽しみにしています。その他の子どもは、自由に好きな遊びを選んで保育室や図書コーナーなどで遊び込んでいます。

保育士は、モンテッソーリ教育法の勉強をしており、モンテッソーリ教育を実施している他園に研修に行くなど熱心に取り組んでいます。

- \* モンテッソーリ教育法とは、約100年前にイタリアのモンテッソーリという女性が始めた教育法で、子どもの持っている特性を上手に用いて、その生命力が正しい方向に注がれていくような「環境」を構成し、子どもの「自立」を促していく方法です。

## 改善や工夫が望まれる点

### 1、保護者とのコミュニケーションの取り方に工夫を

保護者アンケートによると「いつもやさしく見守ってもらっている」「ケガのときの連絡を細かくもらえる」「急な時間変更にも応じてもらい助かる」等、感謝の声が多数ある反面、「話しづらい」「迎えのとき担任がいなくて様子が聞けない」「ケガについての連絡がもらえなかったことがある」などの言葉が散見されます。園は、クラスごとに連絡帳やクラスノート、会話を通じて保護者とコミュニケーションを図り、園長も玄関で会って挨拶を交わすよう努めています。また、朝・昼・夕の非常勤職員のミーティングや、朝・夕のクラスごとの打合せでしっかりと引継ぎをしていますが、職員間で共有するだけでなく、保護者にもより一層理解してもらおうよう、また保護者がより意見を言いやすいよう工夫することが望まれます。

### 2、4、5歳児の保育室の環境整備を

保育室は、子どもたちにとっては快適で安心して過ごせる場所でありたいものです。4、5歳児の保育室はオープンな造りになって開放感があり、異年齢の交流も行えるという利点はありますが、隣のクラスの音が聞こえるので、やや集中しづらい状況にあります。園では、第三者評価受審以降このオープンな空間の環境整備についての検討がなされているようですので、より良い改善を期待します。

当評価機関では、「障害」を「障がい」と表記します。

## 評価領域ごとの特記事項

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構が定めた「評価領域」に則って、記載しています。

### 1、人権への配慮

- ◇ 園の保育理念は「児童福祉法に基づき、人権や主体性を尊重し、自ら伸びゆく可能性を信じて、お子様のために誠意の限りを尽くします」となっており、子どもたちの人権や主体性を重んじた保育を行っています。
- ◇ 職員全員が、常に子どもたち一人ひとりを大切にし、せかしたり強要することはなく優しく温かく接しています。
- ◇ 障がいのある子どもや文化が異なる家庭の子どもも積極的に受け入れ、必要な支援を行っています。また、虐待が疑われる子どもの家庭については専門機関とも連携をとって対応しています。
- ◇ 個人情報保護規定のもとに職員全員と誓約書を交わし、個人情報は施錠できる棚に保管されています。

### 2、利用者の意思・可能性を尊重した自立生活支援

- ◇ 保育士は常に子どもたちの意見・意思を丁寧に聞き取って、気持ちを受け止めているために、子どもたちは落ち着いて遊び、けんかをして自分でも悪いことに気づき、自ら謝るように育っています。
- ◇ モンテッソーリ教育法を取り入れて、発達に即して徐々に子どもたちに伝えています。生活面でも食事・排泄など子どもの個人差を認めて指導され、幼児期になるとほとんど自分で出来るようになっていきます。

### 3、サービスマネジメントシステムの確立

- ◇ 経験豊富な職員を多数採用しています。正職員の勤務時間はほぼ一定しているため、非常勤職員が間をカバーしていますが、ミーティングを頻繁に開き、連携はよくとれています。
- ◇ 職員に向けて、理念や方針、目指す子ども像のほか、社会人として保育士として守るべきマナーなどを記した「職員のしおり」が作られていて、携帯できるようになっています。
- ◇ 安全管理マニュアル、衛生管理マニュアル、苦情対応マニュアル、清掃マニュアル、非常勤職員のための業務マニュアルが整備されています。

### 4、地域との交流・連携

- ◇ 保育の中では、地域の小学校・養護学校・地域ケアプラザ・区内の保育園などと交流を図っています。また、近くの公園やプレイパークにもよく出かけて遊んでいます。
- ◇ 港南区の育児支援センター園として積極的な子育て支援を行い、毎日の一時保育・育児相談、週3日の園庭開放、毎週の親子サロンや月1回の育児講座、交流保育などメニューも多く、地域の親子が多く参加しています。

### 5、運営上の透明性の確保と継続性

- ◇ 職員は常勤・非常勤含めて多く配置されていますが、1日3回のスタッフミーティングや朝夕のクラスミーティング、月一回の職員会議、スタッフ会議、カリキュラム会議、給食会議など頻繁に会議を開き、情報を共有できるようになっています。
- ◇ 保護者には園だよりや保護者懇談会などで園での取り組みなどを説明し、行事ごとにアンケートを実施して意見を聞くようにしています。
- ◇ 運営法人と園とは計画・報告は密に行われていますが、信頼関係の下に園長にほとんどは任されています。園としての中期計画が策定され、毎年法人が主任研修を実施して次期の人材育成に努めています。

### 6、職員の資質向上の促進

- ◇ 職員の研修意欲は高く、17年度は38回の外部研修のほか、わらべ歌やモンテッソーリ教育の研修にも出ています。これも職員体制に恵まれているために可能となっています。
- ◇ 主任、担任、地域支援担当など権限は出来るだけ任せられ、主体的に働く環境があります。
- ◇ 職員は年2回自己評価を行い、園長が1人ずつ面談を行って考課評価を行っています。

## 分類別評価結果

横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照してください。



「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

### 評価領域 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育の理念は、「児童福祉法に基づき、人権や主体性を尊重し、自ら伸びゆく可能性を信じて、お子様のために誠意の限りを尽くします」という利用者本人を尊重したものとなっています。</li> <li>・ 職員は、保育理念、運営方針、めざす子ども像、保育方針等が記入された「職員のしおり」をいつも携帯し、読み返すように心がけています。</li> <li>・ 保育計画は、保育の基本方針に基づき、子どもの意見や意思を汲み取りながら、全職員が関わって作成されています。また、保護者へは、アンケート等で希望を聞くなど保護者の就業状況にも配慮し、保育計画に反映しています。</li> </ul>
<p>- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童票や親子面接を通して、入園前の子どもの様子を詳細に把握し、入園後の保育に活かしています。</li> <li>・ 新入園児は、ならし保育を取り入れ、子どもがよりどころとするものの持込を認めるなどの配慮をして受け入れています。</li> <li>・ 乳児は個別の連絡帳で、幼児はクラスノートにより保護者と連絡をとっています。</li> <li>・ 月間指導計画は、子どもの発達や状況に応じて作成しています。</li> </ul>
<p>- 3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育室は、天気や気温に留意して換気に努め、適切な室内環境になるように配慮されています。</li> <li>・ 保育室は、全室南向きで明るく、広く、清潔に保たれています。</li> <li>・ 沐浴設備や風呂、シャワーの設備が整い、清潔に整えられています。</li> <li>・ 乳児は各食事と午睡の場所を区別し、幼児は時間差でホールで食事をしています。</li> <li>・ ホールや保育室での異年齢児の交流の場があります。</li> <li>・ 4、5歳児の保育室は、オープン形式です。収納棚で区切っただけなので、音が響きやすく、隣のクラスの声がよく聞こえる状況にあります。保育士は、時間差でホールを使用するなどの工夫をしています。また、園としても現在この保育室の環境づくりを再考中です。</li> </ul>

<p>- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 0、1 歳児は、個別指導計画を作成しています。また、特別な課題のある子どもの個別指導計画も作成されています。</li> <li>・ 配慮が必要な子どもの保護者とは、面談を通して話し合いを実施、保護者の同意の下に指導計画を見直しています。</li> <li>・ 個別の目標や計画は、毎月のカリキュラム会議で話し合い、一人ひとりに応じた保育目標の設定、指導計画の作成を行っています。</li> <li>・ 子どもの発達段階に応じた記録があり、必要に応じて保育士は参考にすることができるようになっています。</li> </ul>
<p>- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配慮を必要とする子どもを受け入れており、職員会議で話し合いを重ね、その記録は職員間で共有化されています。なお、個人情報に関する書類は、鍵のかかる棚に保管されています。</li> <li>・ 職員は、障がい児等についての研修を受け、知識を共有しています。</li> <li>・ 園長、主任は、保護者の同意を得て、障がいのある子とその保護者に同行して専門の相談を受けに行く柔軟な体制をとっています。</li> <li>・ アレルギー疾患等への対応は、かかりつけ医の指示書に基づき、看護師と担任が行っています。</li> <li>・ アレルギー対応食については、職員会議や給食会議でよく周知し、保護者とも連携をとりながら対処をしています。</li> <li>・ 保護者が外国人の場合は、その習慣に合わせて食事内容を変更しています。</li> </ul>
<p>- 6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第三者委員は、玄関に掲示され、入園のしおりにも記入されており、保護者へは周知されています。</li> <li>・ 苦情受付マニュアルがあり、園単独での解決が困難な場合には、区役所やその他の機関へ相談する仕組みがあります。また、他機関の連絡先は電話のそばに掲示しています。</li> <li>・ 苦情が出た場合は、すぐに職員会議等で話し合い、速やかな対応を心がけています。</li> </ul>

評価領域 サービスの実施内容

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育室は、子どもの目線に合わせた室内設定を行っており、おもちゃや教材を自由に取り出すことができ、またコーナーで遊ぶことができます。また、ボランティアの手による手作りのおもちゃがたくさん配置されています。</li> <li>・ 保育室内では、ままごと、レゴ、お絵かき、絵本、色紙等、自分の好きなコーナーで自由に遊びます。園庭では、泥の砂場で泥だんご作り、鉄棒、泥山登り、虫取り、怪獣ごっこ等の遊びをします。また、わらべ歌遊びもさかんに行われています。</li> <li>・ 週1,2回の散歩では、地域の人と気軽にあいさつし、道々の草花や虫に興味を示し、目的の公園では思いっきり自由に走りまわって遊ぶことができる等、のびのびとした様子が伺えます。</li> <li>・ けんかの時、保育士は速やかに子どものそばに寄り、双方の話しをよく聞いています。保育士は、大きな声を出すこと無く、静かにゆっくりと話しを聞いています。ごめんなさいと言わせるのではなく、保育士から話を聴いてもらった後、自主的に謝る子どもの姿を何度か目撃しました。</li> <li>・ モンテッソーリ教育法を導入しています。指導者のもと、子どもたちは週に一度、5～6人ずつモンテッソーリの部屋へ行って遊ぶことを楽しみにしています。</li> <li>・ 園庭では季節の野菜を栽培、収穫して食べています。</li> <li>・ 観察時は運動会前で、玉入れやボール、引っ張りっこなど体を動かす遊びが多く取り入れられていました。</li> </ul>
<p>- 1 保育内容[生活]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食事は、ゆったりとした雰囲気の中でおしゃべりしながら楽しく食べています。</li> <li>・ 保育士は、乳児にはゆったりした中で話しかけながら食べさせています。一人で食べられる子どもには、励ましたりほめたりしながら、様子を見て手伝います。</li> <li>・ 給食は、委託業者が全て取り計らっていますが、委託業者の栄養士は園の意向をよく聞き、できるだけ園の方針に沿うようにしています。アレルギー疾患のある子の給食についても保護者や担任とよく連携をとっています。</li> <li>・ 栄養士や調理師は、食事中の子ども様子を交替で見えています。</li> <li>・ 午睡時、眠れない子どもは保育士から背中をさすって貰ったり、子守唄を歌って貰ったりしています。室内は、カーテンが引かれ暗いので静かな中で午睡ができます。5歳児は、就学に向け段階的に午睡を減らしていくように工夫しています。</li> <li>・ トイレトレーニングは、子どもの状態に合わせ無理のないように取り組んでいます。</li> </ul>
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康管理に関するマニュアルがあり、一人ひとりの健康状態を把握しています。さらに保育士は、クラスの一人ひとりの情報がいつでも確認できるよう健康クラスノートを作成しています。</li> <li>・ 健康診断・歯科健診の結果は記録され、その結果は保護者にも連絡しています。また、園だよりにも掲載し、検査結果についての注意を促しています。</li> <li>・ 感染症マニュアルがあります。感染症が発生したときには、すぐさま掲示板へ掲示して注意を促すとともに、保健だよりでも紹介しています。看護師が保健だよりを担当しています。</li> </ul>

<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衛生管理に関するマニュアルがあります。</li> <li>・ マニュアルに基づいて清掃が実施され、清掃後は清掃一覧表に記入して徹底を図っています。</li> <li>・ トイレ後はペーパータオルで手を拭いたり、給食前にはテーブルを消毒スプレーで消毒したりと衛生面にも配慮しています。</li> </ul>
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全管理に関するマニュアルがあり、窒息予防、転落防止、落下物予防等について詳しく記載されています。また、園独自の安全点検簿があり、遊具のチェック、ベッドのがたつき、水漏れ、ドアの鍵・開閉の具合、ささくれ等について週に一度は点検し、記録しています。</li> <li>・ 緊急連絡体制は電話のそばに掲示されています。</li> <li>・ 避難訓練は、内容を変えて毎月実施しています。訓練後は職員会議で訓練の反省を行い、記録をとりファイリングしています。</li> <li>・ 防火確認簿があり、毎日点検した記録があります。</li> <li>・ 職員は、救急救命法の講習を順次受けており、誰もが救急救命法を身に付けるように努めています。</li> <li>・ 事故の報告は、職員会議や毎日のミーティングでも行われており、再発防止に努めています。事故ノートには些細なケガにいたるまで記入しています。</li> <li>・ 防犯については、セキュリティシステムを導入、さらに法人の警備担当者が見まわっています。</li> </ul>
<p>- 3 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育士は、せかしたり強制したりせず、おだやかに分かりやすい言葉で話しかけ、一人ひとりの話をよく聞いています。</li> <li>・ 個人情報保護規程に則り、職員は守秘義務の誓約書を取り交わしています。</li> <li>・ プライバシーが守れる場所として相談室、図書コーナーがあります。また、廊下や衝立なども利用しています。</li> <li>・ 保育士は、虐待についての研修を受けています。虐待が疑われる子どもについては、生活ぶりや園での様子にも気をつけ記録をとり、区や児童相談所とも連携をとるようにしています。</li> </ul>
<p>- 4 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者が園の基本方針を理解できるように、懇談会で話したり、園だよりで説明しています。また、園のしおりやパンフレットでも説明しています。</li> <li>・ モンテッソーリ教育法を取り入れるときには、保護者に説明の書類を出し、理解を得るように努めました。</li> <li>・ 保護者とは、日常の情報交換や連絡帳での連絡に加え、クラス懇談会や個人面談を実施しています。さらに、個人的な相談等にも担任や園長が応じています。</li> <li>・ 園だよりや保健だよりを毎月発行し、園での子どもの様子を分かりやすく情報提供しています。</li> <li>・ 保育参加は、一日5名まで受け入れています。保護者は保育へ参加し、子どもと一緒に遊んだり、給食を一緒に食べたりして子どもの様子を知ることができます。</li> <li>・ 保護者組織はありませんが、保護者から要望があれば考慮する姿勢があります。</li> </ul>

評価領域 地域支援機能

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園長は、早い時期から地域支援の必要性を感じて実践してきた豊富な経験があり、開園当初から地域へ力を注ぎ、子育て支援センター園となり、内容も充実しています。</li> <li>・ 地域支援専門の担当が決まっており、毎日の相談受付、週3日の園庭開放、交流保育、一時保育のほかに、週1回親子サロンを設け、地域の子どもの発達を支援しています。</li> <li>・ 園長が地域の町内会に出席して情報提供やニーズの把握を図っています。</li> <li>・ 地域の保護者向けに毎月育児講座を開き、園の職員が担当するほかに外から講師も招いています。</li> </ul>
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講座や交流会などの情報提供と育児相談を積極的に行っています。</li> <li>・ 育児相談は担当が決まっていて、多様な相談に対応しています。</li> <li>・ 区の福祉保健センターや地域療育センターとも連携が取れています。</li> </ul>

評価領域 開かれた運営

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の太鼓研究会や楽器演奏のグループに依頼して演奏をしてもらったり、親子サロンの部屋を地域のグループや区の赤ちゃん教室に貸し出しています。</li> <li>・ 地区センターや近くのプレイパークに出かけ、区内の保育園と定期的な交流会を行っています。小学校の運動会や養護学校の文化祭に参加をし、ケアプラザでお年寄りと交流するなど、地域と交流して生活を豊かにしています。</li> </ul>
<p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普段の一時保育や園庭開放の利用者を含め、将来の利用者には丁寧に情報提供し、見学の受け入れも希望者の都合に合わせて行っています。</li> </ul>
<p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の人や高校生、保育の専門学校等のボランティアを受け入れています。</li> <li>・ 実習生も積極的に受け入れ、実習目的に応じたプログラムを用意しています。</li> <li>・ ボランティアの感想や意見を聞き、運営に反映されることが望まれます。</li> </ul>

評価領域 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人材は経験豊富な職員が多く、非常勤も含めると余裕のある配置となっています。</li> <li>・ 園の理念や方針に合った人材を育成することに熱心で、職員自ら多くの外部研修を受け、非常勤職員は内部で指導を受け、資質向上に努めています。それを可能にしているだけの職員の層の厚さがあります。</li> <li>・ 経験豊富な非常勤職員を多く採用しており、業務や保育の連絡も密に行われています。</li> <li>・ 正職員と非常勤職員はローテーションを組んで保育にあたり、クラスごとの引継ぎと1日3回のミーティングが行われて、職員間のコミュニケーションが図られています。</li> </ul>
<p>- 2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員会議、スタッフ会議のほか多くのミーティングの中で自己研鑽を行うと同時に、年2回自己評価と園長との面談を行って、スキルアップにつなげています。</li> <li>・ モンテッソーリ教育法の実施を目指して、職員を3人ずつ外部の研修・実地研修に出し、園内でも資格を持つ指導者を招いて指導を受けています。</li> </ul>
<p>- 3 職員のモチベーション維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員にはそれぞれ役割が明確化されており、クラス担任や地域支援、一時保育の担当が主体的に判断できるよう任されています。</li> <li>・ 園長・主任と職員は話し合う機会が多く、職員の提案などを受け入れ運営に活かしています。</li> <li>・ 年2回の個別の面談により、職員の満足度を把握しています。</li> <li>・ 職員室の配置がよく、ミーティングの回数も多く、職員が働きやすい職場となっていて、職員の満足度は高く見受けられました。</li> </ul>

評価領域 経営管理

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園の社会的な責任として、経営者・園長ともに法・規範を遵守しています。</li> <li>・ 全職員に配布されている携帯用「職員のしおり」に社会人として、保育士として守ることが明記されています。</li> <li>・ 環境面について、無駄を省くことに努めていますが、目標や方針に説明されてはいません。</li> </ul>

<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園の理念や方針は「職員のしおり」に明記され、職員に周知されています。</li> <li>・ 開所2年足らずで、重要な意思決定をする場面はまだありませんが、園長の強い希望によりモンテッソーリ教育法への取り組みが精力的に行われています。</li> <li>・ 2人の主任は、法人の主任研修を受講し、それぞれスーパーバイザーとしての役割を果たしています。</li> </ul>
<p>- 3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部からの情報は多角的に収集し、環境の変化に積極的に対応しています。</li> <li>・ 4,5歳児の保育室がオープンであるために、隣の音が聞こえて集中しづらいという問題は、園全体で把握し法人としても取り組む予定です。</li> <li>・ 保育内容、人材育成、設備関係の中期目標を定めています。</li> <li>・ 次代の組織運営、後継者育成や専門的なアドバイス等は法人本部が責任を持って行っています。</li> </ul>

## 利用者家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2006年8月1日～8月20日
- 2、実施方法 事業者から直接利用者家族に配付（手渡し） 同封の返送用封筒にて評価機関宛匿名で返送
- 3、回収率 約58.1%（105枚配付、61枚回収）
- 4、所属クラス  
0歳児...8人、1歳児...12人、2歳児...12人、3歳児...10人、4歳児...11人、5歳児...8人  
ただし複数名が在籍の場合には下の児童のクラス

### 結果の特徴

- 【問1】**保育目標や保育方針**は、知っているという回答が67.3%で、その内97.6%がほぼ共感できるとしています。しかし、保育目標や方針をあまり知らないという人が14.8%います。
- 【問2】**入園時の対応**については、「見学の受入れ」についての「その他」の項目が32.8%という結果になっていますが、2年前に新規開設された園という事情が自由記入欄にみられ、保護者も理解しています。「見学受入れ」以外の質問では、ほぼ満足しています。
- 【問3】**年間計画**については、保育や行事についての説明に満足しています。また、保護者の要望が活かされているかについてもほぼ満足しています。なお、行事後のアンケートが次回に生かされているという記述がみられました。
- 【問4】**日常の保育内容の遊びや教材**については、ほぼ全員が満足しています。**生活**について、給食はほぼ全員が満足と答えています。アレルギー対応食への取り組みや、夕食時の急なサービス依頼にもよく応えてくれるとの感謝の声が自由記入欄にみられます。体調への気配りやケガについての説明も、ほぼ満足しています。
- 【問5】**快適さや安全対策**については、多くの保護者が満足しています。入り口の防犯対策に安心の声がみられます。
- 【問6】**園と保護者の連携**については、ほぼ満足と答えています。但し、送り迎え時にもう少し詳しく子どもの様子が聞きたいと思っている保護者の声が自由記入欄にみられます。
- 【問7】**職員の対応**については、「子どもが大切にされている」「保育園生活を楽しんでいる」についての満足度が高く、子どもたちにやさしく接してもらっているという記述がみられます。しかし不満や要望を気軽にいえないという声もありますので、今一度検討が必要です。
- 【問8】**総合的な評価**は、「満足」「どちらかといえば満足」を合わせて93.4%と高いです。
- 【問9】**園への要望**としては、できれば保育室に担任がいつもいて欲しい、もっと子どもの様子を聞きたい、勉強の教室を開いて欲しい等がありましたが、全体的には保護者は満足している様子が伺えます。

### 満足度の高かった点

- ◇ 保育内容の遊びや教材については、全員が満足（100%）しています。また、給食のメニューや給食を楽しんでいるかについても、ほぼ100%の満足です。90%以上の満足になっているのが、年間の保育や行事についての説明、園外活動、遊びを通じての友達との関わり、健康づくりへの取り組み、昼寝や休憩、子どもの体調への気配り、園舎園庭などの施設、子どもが落ち着いて過ごせる、不審者侵入に対する備え、衛生管理や感染症対策、園だよりや掲示による情報提供、保護者からの相談事への対応、子どもが大切にされている、園生活を子どもが楽しんでいるについて、の各項目です。

### 満足度のやや低かった点

- ◇ 「送迎時の子どもの様子に関する説明」と「不満や要望を気軽にいえるか」については、やや不満・不満をあわせて23%となっています。

## 利用者家族アンケート集計結果

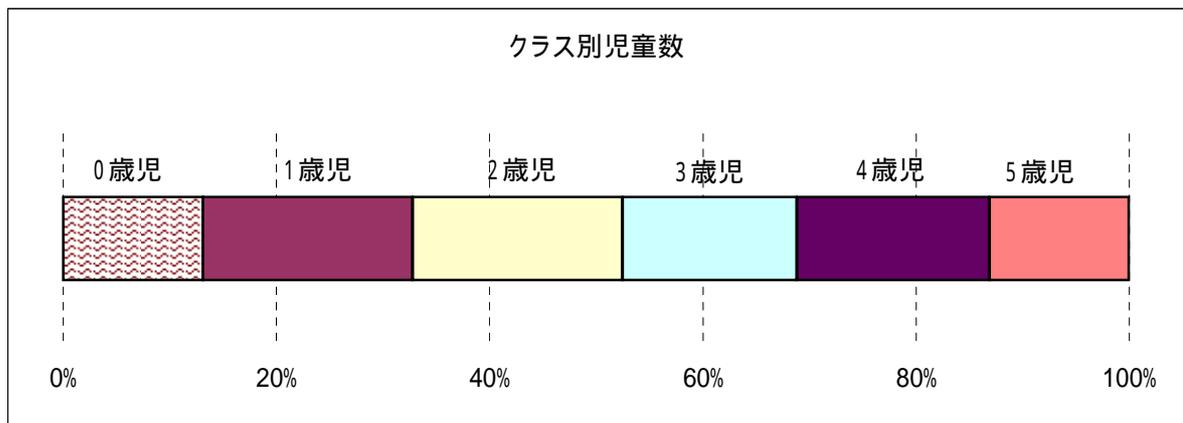
実施期間： 2006年 8月1日～8月20日

回収率： 58.1% (回収61枚 / 配付105枚)

### 【属性】

クラス別児童数 複数在籍の場合は、下の子どものクラスで記入

合計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	無回答
61	8	12	12	10	11	8	0



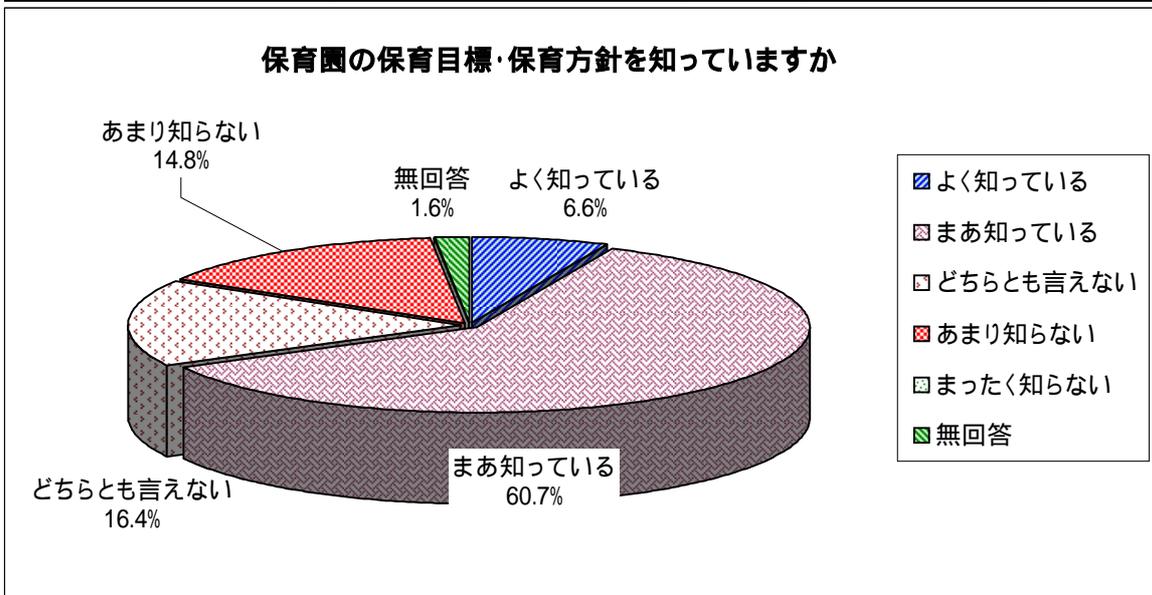
(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)

## 保育園の基本理念や基本方針について

### 問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	6.6	60.7	16.4	14.8	0.0	1.6	100

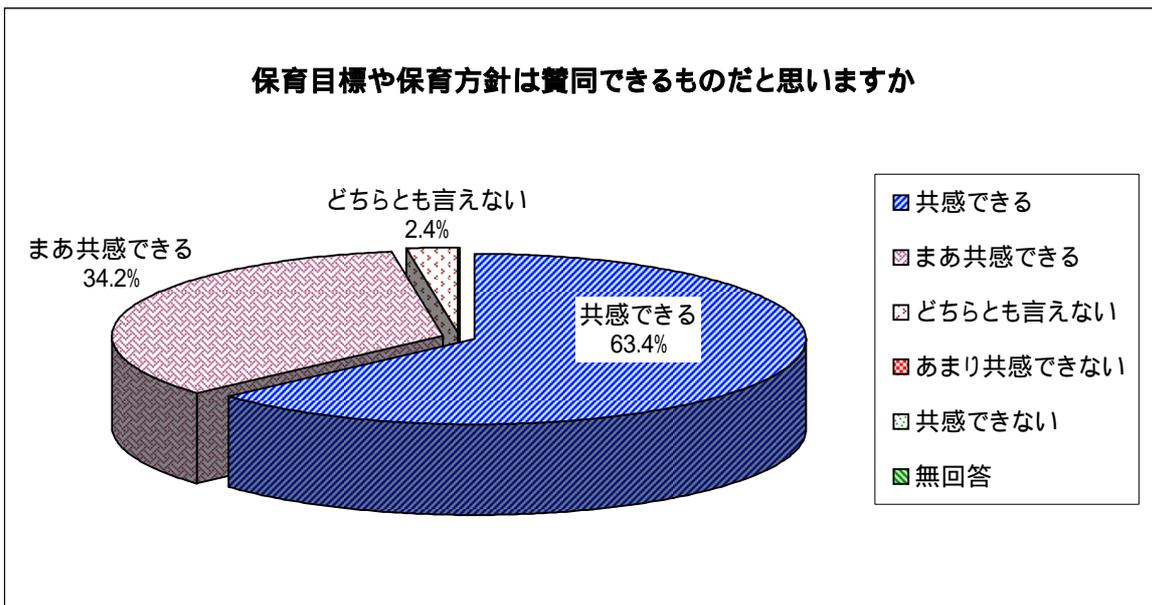


「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

### 付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

付問1:	共感できる	まあ共感できる	どちらとも言えない	あまり共感できない	共感できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	63.4	34.2	2.4	0.0	0.0	0.0	100



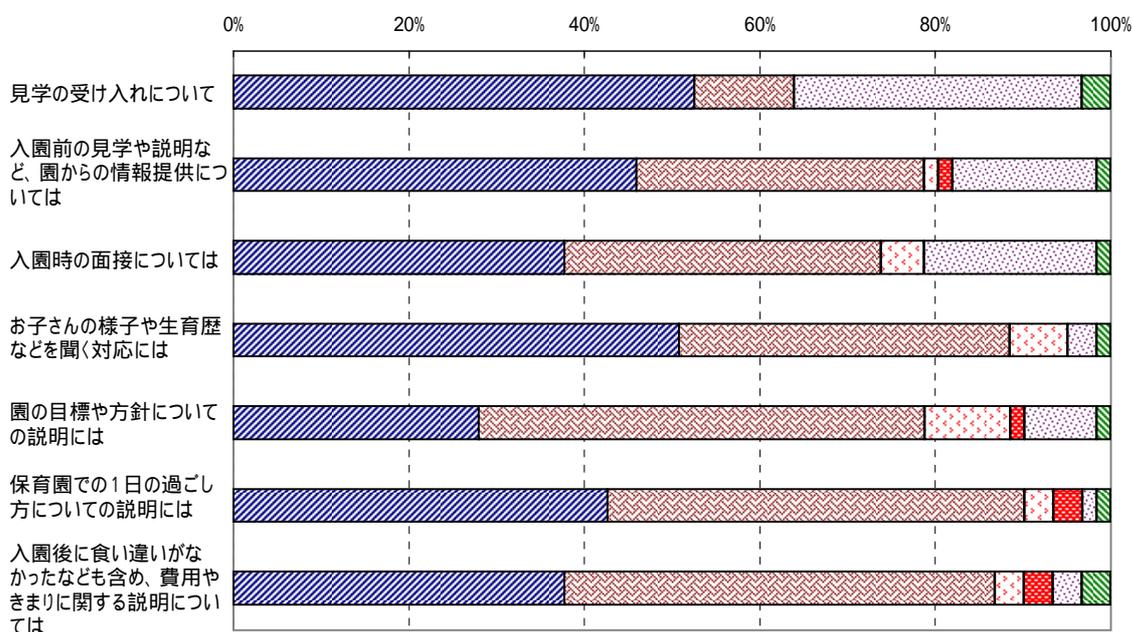
## 保育園のサービス内容について 問2 入園時の状況について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	52.5	11.4	0.0	0.0	32.8	3.3	100
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	45.9	32.8	1.6	1.6	16.4	1.6	100
入園時の面接については	37.7	36.1	4.9	0.0	19.7	1.6	100
お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	50.8	37.7	6.6	0.0	3.3	1.6	100
園の目標や方針についての説明には	27.9	50.8	9.8	1.6	8.2	1.6	100
保育園での1日の過ごし方についての説明には	42.6	47.5	3.3	3.3	1.6	1.6	100
入園後に食い違いがなかったなども含め、費用やきまりに関する説明については	37.7	49.2	3.3	3.3	3.3	3.3	100

### 入園時の状況について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



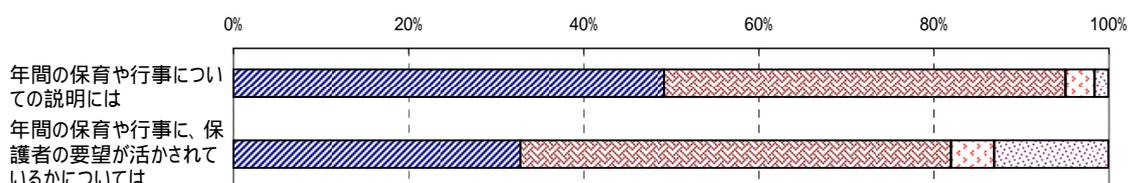
## 問3 年間の計画について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	49.2	45.9	3.3	0.0	1.6	0.0	100
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	32.8	49.2	4.9	0.0	13.1	0.0	100

### 年間の計画について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答

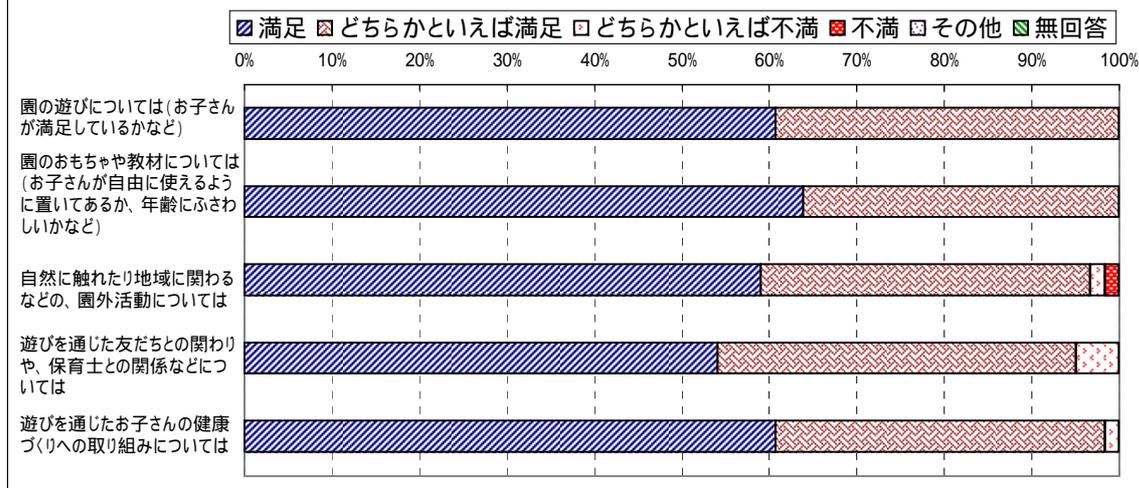


#### 問4 日常の保育内容について

(%)

「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
園の遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	60.7	39.3	0.0	0.0	0.0	0.0	100
園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	63.9	36.1	0.0	0.0	0.0	0.0	100
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	59.0	37.7	1.6	1.6	0.0	0.0	100
遊びを通じた友だちとの関わりや、保育士との関係などについては	54.1	41.0	4.9	0.0	0.0	0.0	100
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	60.7	37.7	1.6	0.0	0.0	0.0	100

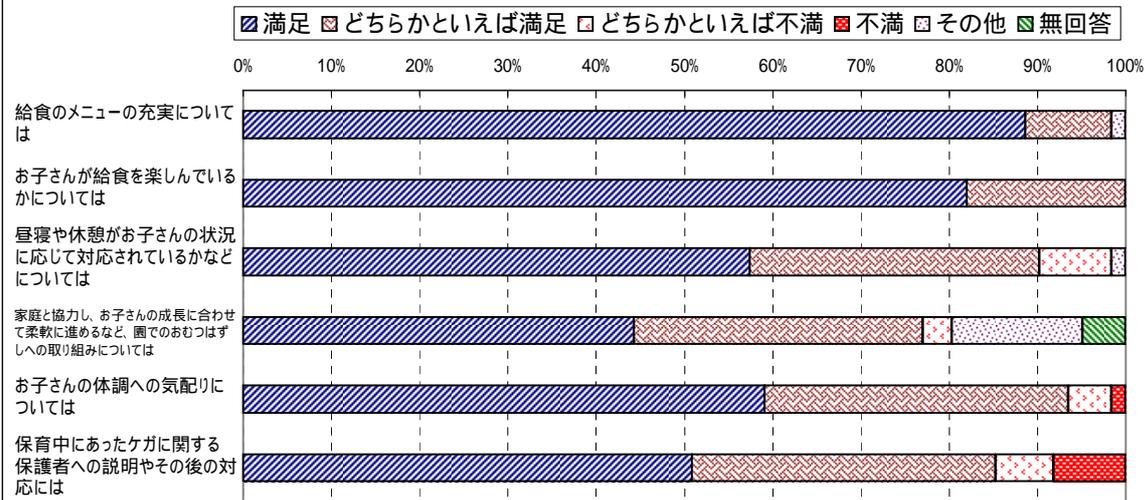
#### 日常の保育内容「遊び」について



(%)

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食のメニューの充実については	88.5	9.8	0.0	0.0	1.6	0.0	100
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	82.0	18.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	57.4	32.8	8.2	0.0	1.6	0.0	100
家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めるなど、園でのおむつはずしへの取り組みについては	44.3	32.8	3.3	0.0	14.8	4.9	100
お子さんの体調への気配りについては	59.0	34.4	4.9	1.6	0.0	0.0	100
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	50.8	34.4	6.6	8.2	0.0	0.0	100

#### 日常の保育内容「生活」について



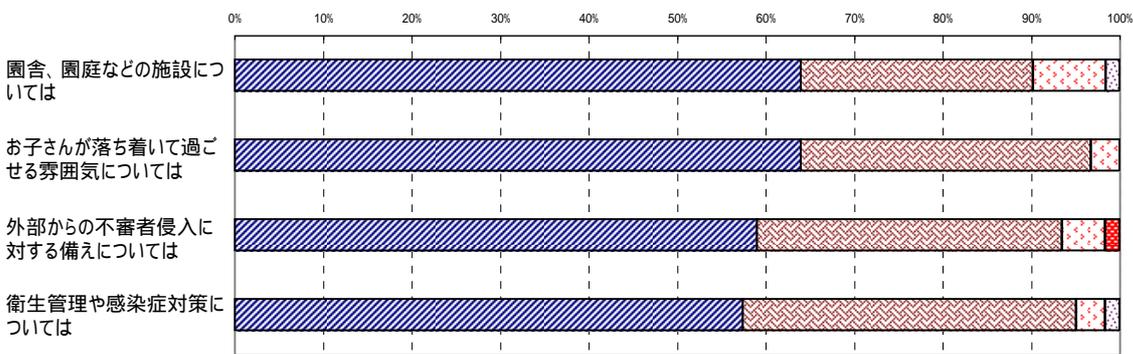
### 問5 快適さや安全対策などについて

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
園舎、園庭などの施設については	63.9	26.2	8.2	0.0	1.6	0.0	100
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	63.9	32.8	3.3	0.0	0.0	0.0	100
外部からの不審者侵入に対する備えについては	59.0	34.4	4.9	1.6	0.0	0.0	100
衛生管理や感染症対策については	57.4	37.7	3.3	0.0	1.6	0.0	100

#### 快適さや安全対策などについて

■ 満足 ■ どちらかといえば満足 □ どちらかといえば不満 ■ 不満 □ その他 ■ 無回答



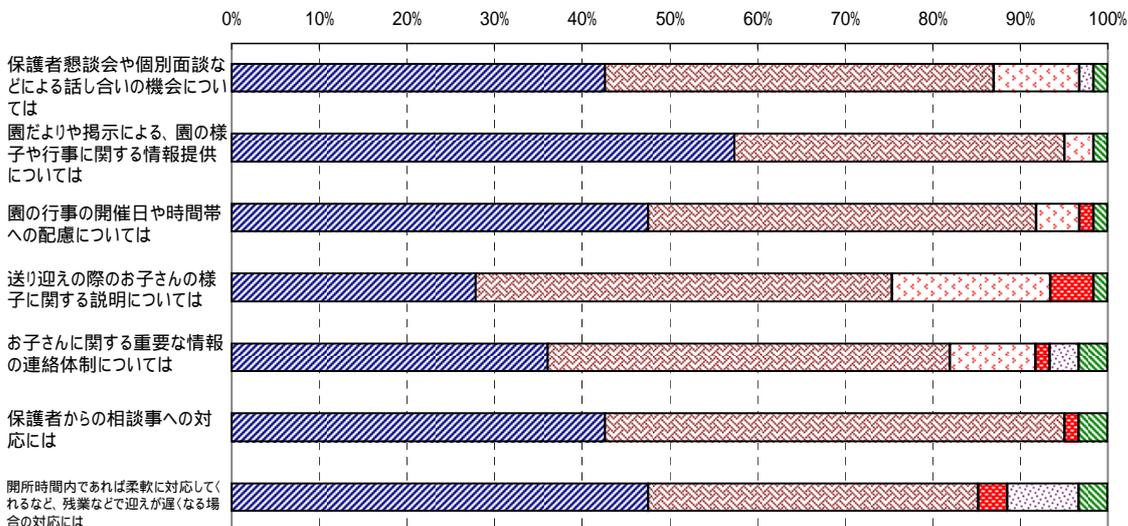
### 問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	42.6	44.3	9.8	0.0	1.6	1.6	100
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	57.4	37.7	3.3	0.0	0.0	1.6	100
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	47.5	44.3	4.9	1.6	0.0	1.6	100
送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明については	27.9	47.5	18.0	4.9	0.0	1.6	100
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	36.1	45.9	9.8	1.6	3.3	3.3	100
保護者からの相談事への対応には	42.6	52.5	0.0	1.6	0.0	3.3	100
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	47.5	37.7	0.0	3.3	8.2	3.3	100

#### 園と保護者との連携・交流について

■ 満足 ■ どちらかといえば満足 □ どちらかといえば不満 ■ 不満 □ その他 ■ 無回答

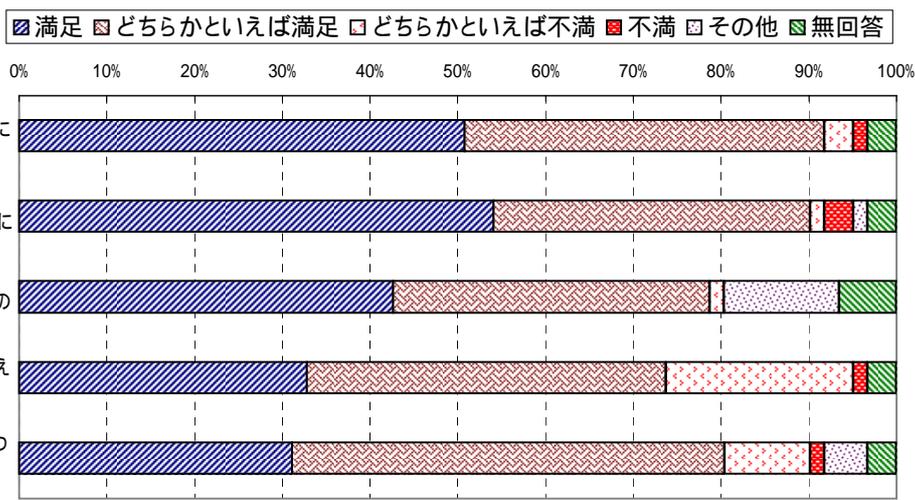


### 問7 職員の対応について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	50.8	41.0	3.3	1.6	0.0	3.3	100
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	54.1	36.1	1.6	3.3	1.6	3.3	100
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	42.6	36.1	1.6	0.0	13.1	6.6	100
不満や要望を気軽に言えるかどうかについては	32.8	41.0	21.3	1.6	0.0	3.3	100
不満や要望への対応については	31.1	49.2	9.8	1.6	4.9	3.3	100

#### 職員の対応について

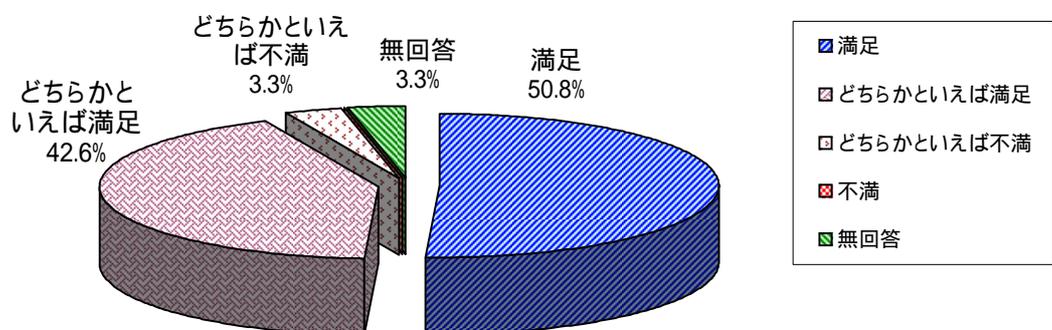


### 問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	計
総合満足度は	50.8	42.6	3.3	0.0	3.3	100

#### 総合満足度



## 利用者本人調査 分析

観察およびヒアリング調査（ヒアリングは、5歳児クラスの遊んでいる時と食事中に聞き取りを実施）

9月25日（月）9:15～13:00 1,2,3,4,5歳児クラスおよび一時保育、親子サロン

9月27日（水）9:10～12:30 1,2,3,4,5歳児クラス

### 1. 遊びについて

25日は秋晴れの日だったので、4歳児は30分歩いてあぶな公園へ。公園では滑り台、鉄棒、ブランコ、木登りで遊びました。5歳児は1時間かけて日野中央公園へ。広い敷地と池と岩だけの公園で、鬼ごっこで駆け回り、池でトンボとりやどんぐり拾い、岩を使ったごっこ遊びなどで思い思いに存分に遊びました。3歳児はブロック、ままごと、お絵かき、絵本、園庭では砂場、木馬、滑り台などで遊び、2歳児はホールでダンボールの汽車ごっこ、ボール、風船遊びをしていました。1歳児はホールで積み木や風船、歌、ダンスなどで遊びました。

27日。5歳児は、ホールで運動会でのはじめの挨拶の言葉を皆で考えました。続いて玉入れをして、途中からは4歳児も加わり、勝つと跳び上がって喜んでいました。その後公園に出かける予定が雨が降り出し、部屋で自由に遊びました。5歳児はコーナーごとにレゴブロック、お絵かき、折り紙などそれぞれに集中して遊んだ後、布の手作りの綱で一对一の引張りっこをし、盛り上がっていました。

### 2. 食事について

1歳児は保育室で4人ずつテーブルについて食べます。自分で食べる子がほとんどですが、保育士も手伝い、食べるのが遅い子には保育士が一人つき、「上手に食べたね」「がんばってね」とやさしく声かけをしていました。

3、4、5歳児はホール内でクラスごとに分かれて、時間差をつけて食べます。当番が配膳を手伝い、テーブルごとに「いただきます」といって食べ始めます。ほとんどが残さずに食べていますが、嫌いなものは減らしてもらったり、「一口だけ食べてみようね」とやさしくすすめられ、無理強いはされていません。子どもたちも「給食はおいしい」「残さないで食べる」と話していました。おかわりをする子もいて保育士がよそっていました。食べ終わると1人でご馳走さまをして食器を下げ、歯磨きを始めます。

### 3. 排泄について

ホールや外に行く前、給食の前、午睡の前に保育士が声をかけてトイレに誘っています。1歳児は、おやつ後に順番にトイレへ行き、保育士が便座に「座ってみよう」と声をかけ、排尿を促し、出た子には「よかったねー」「えらかったねー」とほめていました。2歳児は、半数はほぼオムツがとれているとのことですが、オムツはずしは無理強いせず、個々の時期をはずさないように気をつけて働きかけています。ズボンの上げ下ろしも自分でやるのを待ち保育士が手伝っています。3歳児はトイレのところに保育士が1人いて、おしりを拭いたり、ズボンの上げ下ろしを手伝っています。4、5歳も節目節目で声をかけますが、一斉ではなく、いきたい子だけがいます。散歩中も「おしっこ」といった子を近くの店のトイレへ連れて行き、他の子どもたちは待っていました。子ども達も「行きたくなったらいく。食事中に行くのは行儀が悪いのでその前に行くように先生に言われている」といっています。

あくまでも個人差を大事にしています。

### 4. 清潔・健康について

散歩から帰ってきた4、5歳児はたらいで足を洗い、手は水道へ行って丁寧に洗っていました。3歳児は手も足もたまり水で洗い、足拭きで手も拭いている姿が見られました。汚れた服は自分で着替えてい

ました。トイレの手拭きは紙を使っています。

2歳児には雨にぬれたズボンを「着替えようね」と話して手伝っていました。手を洗って袖口がぬれて泣いている子へどうしてぬれたかを話し、「手を洗うときには袖をまくって洗おうね」と話しながら、着替えるかどうかを聞いていました。1歳児はおやつの前に手を洗い、各自のタオルで拭いていました。

各自で出来ることは自分でさせ、出来ないところは保育士が手伝い、1、2歳児には丁寧に習慣をつけるための働きかけが行われ、4、5歳児はその習慣が身についているようです。

## 5. いやな思いへの対応や権利を守ることについて

1歳児にはやさしくゆっくりと声をかけ「・・ね」の声かけが多くきかれました。2歳児で二人がつかみ合いになった時、保育士はやられたほうに「痛かったでしょう」と声をかけ、次にやった子にどうしたのかと静かにききます。そして「友達にそんなことはしてはいけないよ」と諭し、やられた子にはいやなことは「やめて」というように話して、子どもは落ち着きました。他の場合でも、ケガをした子を冷やすところを、ケガをさせた子にも見させて、いけないことをわからせるようにしています。3歳児では二人がぶつかったとき、ぶつめた頭は冷やし、それぞれ話を聞いて、相手のことに気づかせるようにしていました。絵本の前に立った子どもが「見えない」といわれ、注意した子どもの頭をぶつてしまうと、保育士は絵本読みを中断して、ぶつた子どもに真正面から向き合って話していました。「あまりなさい」という言葉は保育士からは出ませんでした。しばらくすると自ら「ごめんね」と謝りに行っていました。

5歳児は子どもたちが「入れて」「やめて」などきちんといい、又ほしいものが同じでもジャンケンなどルールを使ってけんかが少ないように見受けられました。一度遊びの邪魔をした男の子に女の子達が抗議をし、そのうちの1人に男の子が手を出したので、保育士が部屋の外に連れ出して、長い間話をしていました。部屋にもどってきたときは二人とも落ち着いていました。

保育士は子ども同士のけんかに、一対一でしっかり関わって、お互いの気持ちを受け止め、相手のことに気づかせるよう静かに対処していますので、子どもたちは自分のしたことに気づき、自ら謝るようになっていきます。

## 6. 職員について

どのクラスも子どもの名前は「ちゃん」づけで呼んでいます。いつも保育士は静かに優しく話しかけ、叱るときも大きな声を出さずに諭すように話しています。

散歩途中の危険なところでは子どもに繰り返し注意をし、運動会の練習など新しいことやルールがあることはきちんと説明をしますが、遊ぶときは禁止の言葉は少なく、子どもたちが自由に遊べるようにサポートしています。

5歳児では、鬼ごっこで担任も子ども達と一緒に懸命に走り、自由遊びの太鼓打ちでは担任がリズムを取って見本を見せると、子どもは真剣なまなざしで見つめています。2歳児では、いつも子どもたち全員の様子に注意を払いながら、遊んだり話をしたりしています。

保育士同士の連携はよく取れていて、主に進める保育士と、はずれる子どもや障がいのある子どもに1対1で関わる保育士がいて、その場その場での役割分担がしっかりされています。

子どもとの信頼関係もしっかりと出来ており、看護師や他の大人にも子どもが親しげに甘えている姿がみられました。

## まとめ

子どもたちは、保育士に一人ひとり受け止められ大切にされているので、落ち着いていて、遊びにも集中しています。子ども同士はぶつかりながらも、相手のことを理解するように丁寧に働きかけられて自ら謝ることができるようになり、5歳児になると自分たちでほとんどは解決できるようになっています。

## 事業者コメント

### 第三者評価を受審して 感想

膨大な量の自己評価票の作成、まとめ、全職員（非常勤職員も含めて）に些細なこと等まで周知することの大変さ、各種マニュアルの整備、等々受審するのも楽ではないと感じました。しかし評価調査報告書を受け取ってみると、第三者の立場でとても暖かい目で見下している文章内容に感激致しました。また、最後の意見交換の場でも、私たちが日々努めている子どもたちを真ん中にした保育が、そのまま評価されたことがわかり、うれしく思います。

開設以来2年間「暖かい家庭的な雰囲気のある保育園をめざして、保育士が自らの研鑽に励んできた」成果が、第三者の立場からも認めて頂けたことが、これからの保育の励みにもなると嬉しく思っています。

一方、評価の設問に関する事でいえばより良い保育にあまり影響のないような事柄が含まれており、設問の内容に賛同出来ない箇所もありました。

今回いただきました「評価結果」に甘んずることなく、理想的な保育園を目指して歩み続けて参りたいと心を新たにしているところです。

ご指摘を受けた箇所はすでに検討し改善に向けて歩み始めております。これからも、子どもの将来を考えて大切な子どもの命を育ていくことに誠意を尽くしていきたいと、職員一同強く思っています。有り難うございました。

平成 18 年 10 月 30 日  
赤い屋根保育園  
園長 山口 雅子